



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月6日

上場会社名 大東港運株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9367 URL <http://www.daito-koun.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 曾根 好貞
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 荻野 哲司 (TEL) 03-5476-9701
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	14,733	△1.2	643	△0.8	662	2.5	446	△2.1
28年3月期第3四半期	14,907	0.7	648	3.8	646	1.2	456	12.9

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 441百万円(△3.5%) 28年3月期第3四半期 457百万円(0.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	50.20	—
28年3月期第3四半期	49.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	11,147	4,901	44.0
28年3月期	10,492	4,531	43.2

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 4,901百万円 28年3月期 4,531百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,300	△0.0	730	△5.2	740	△2.3	490	△5.7	55.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	9,389,000株	28年3月期	9,389,000株
29年3月期3Q	491,243株	28年3月期	491,243株
29年3月期3Q	8,897,757株	28年3月期3Q	9,140,757株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、平成29年2月6日に、四半期決算説明資料「第68期(平成29年3月期)第3四半期決算説明資料」を当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成28年4月1日～平成28年12月31日)におけるわが国経済は、政府による経済政策を背景として雇用および所得環境が緩やかな回復基調で推移しました。期初は円高進行などによる企業収益への影響や個人消費の低迷が心配されましたが、米大統領選後の急激な円安や株高等もあり、生産・消費に回復の兆しが見られる状況となっております。

海外経済においては、米国では個人消費を中心に回復基調が続いているものの、次期政権による経済政策運営の不透明感が高く、欧州では英国の欧州連合(EU)離脱問題に起因する政治・経済の不確実性の高まり、アジアでも中国を始めとする新興国経済の減速感等、先行きは不透明な状況となっております。

かかる環境下、当第3四半期連結累計期間における物流業界におきましては、アメリカからの輸入は、このところ持ち直しの動きがみられました。欧州およびアジアからの輸入はおおむね横ばいで推移しました。

輸出に関してもおおむね横ばいで推移しました。

その中で当社取扱いの大きな部分を占める食品の輸入は、畜産物および農産物が増加、水産物およびその他は減少となりました。

また、鋼材の国内物流取扱いにおいてはおおむね横ばいで推移しました。

このような状況の中、当社グループは「『ありがとう』にありがとう」のコーポレートフィロソフィーの下で、第5次中期経営計画「新たな成長に向けて」の最終年度を迎え、その各施策一つひとつを着実に実行するとともに積極的な受注活動を展開してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における連結売上高は、前年同期間比1.2%減の147億33百万円となったものの、連結経常利益は前年同期間比2.5%増の6億62百万円となりました。一方、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期間比2.1%減の4億46百万円となりました。

セグメント別の営業状況は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「3. 四半期連結財務諸表 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等) セグメント情報」の「II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日) 3. 報告セグメントの変更等に関する事項」を参照ください。

また、以下の前年同期間比較については、前年同期間の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

[輸出入貨物取扱事業]

輸出入貨物取扱事業は、売上高は前年同期間比1.2%減の127億84百万円となり、セグメント利益は前年同期間比3.9%減の10億48百万円となりました。

[鉄鋼物流事業]

鉄鋼物流事業は、売上高は前年同期間比0.7%増の10億83百万円となり、セグメント利益は24百万円となりました。

[その他事業]

その他事業は、売上高は前年同期間比3.0%減の8億65百万円となり、セグメント利益は前年同期間比9.2%減の1億23百万円となりました。

セグメント別売上高

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 自平成27年4月1日 至平成27年12月31日		当第3四半期連結累計期間 自平成28年4月1日 至平成28年12月31日		増減	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	増減比 (%)
輸出入貨物取扱事業	12,939,579	86.8	12,784,675	86.8	△154,904	△1.2
鉄鋼物流事業	1,075,913	7.2	1,083,730	7.3	7,816	0.7
その他事業	892,030	6.0	865,242	5.9	△26,788	△3.0
合計	14,907,523	100.0	14,733,648	100.0	△173,875	△1.2

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

輸出入貨物取扱事業における取扱品目別売上高

取扱品目	前第3四半期連結累計期間 自平成27年4月1日 至平成27年12月31日		当第3四半期連結累計期間 自平成28年4月1日 至平成28年12月31日		増減	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	増減比 (%)
畜産物	5,227,642	40.4	5,430,725	42.5	203,083	3.9
水産物	2,413,265	18.6	2,198,894	17.2	△214,371	△8.9
農産物	1,733,380	13.4	1,758,664	13.7	25,283	1.5
その他	3,565,290	27.6	3,396,391	26.6	△168,899	△4.7
合計	12,939,579	100.0	12,784,675	100.0	△154,904	△1.2

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は11億47百万円となり、前連結会計年度に比べ6億55百万円増加いたしました。受取手形及び営業未収入金4億90百万円、保険積立金他(固定資産・その他)1億7百万円の増加が総資産増加の主な要因であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は6億245百万円となり、前連結会計年度に比べ2億84百万円増加いたしました。未払法人税等1億9百万円、賞与引当金1億51百万円それぞれ減少しておりますが、支払手形及び営業未払金2億88百万円、短期および長期借入金1億40百万円、未払金他(流動資産・その他)1億27百万円それぞれ増加しており、それらが負債増加の主な要因であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は4億91百万円となり、前連結会計年度に比べ3億70百万円増加いたしました。利益剰余金3億75百万円の増加が純資産増加の主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、通期の連結業績予想につきましては、平成28年11月2日に公表した数値に変更はございません。今後の動向により業績予想の変更が必要な場合には速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

(会計上の見積りの変更)

(耐用年数の変更)

当社は現在、基幹系システムのリプレイスを実施しており、平成28年9月23日開催の経営会議で次期基幹系システムの稼働時期を決定しました。

これにより、第2四半期連結会計期間において、現行基幹系システムで利用不能となる固定資産について耐用年数を短縮し、将来にわたり変更しております。

この変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,384,629	1,357,052
受取手形及び営業未収入金	2,825,718	3,315,748
たな卸資産	278,040	234,004
前払費用	55,138	98,879
繰延税金資産	114,397	53,474
その他	338,823	381,272
貸倒引当金	△19,002	△4,994
流動資産合計	4,977,746	5,435,438
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	654,862	616,326
機械装置及び運搬具(純額)	137,163	124,237
土地	2,282,394	2,282,394
リース資産(純額)	62,231	65,819
その他(純額)	41,338	39,846
有形固定資産合計	3,177,991	3,128,624
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	787,612	866,161
破産更生債権等	60,447	59,417
繰延税金資産	321,630	315,441
その他	1,013,037	1,120,810
貸倒引当金	△58,573	△66,892
投資その他の資産合計	2,124,154	2,294,938
固定資産合計	5,514,413	5,711,727
資産合計	10,492,159	11,147,166

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,620,005	1,908,106
短期借入金	614,015	640,019
未払法人税等	147,616	38,105
賞与引当金	281,845	129,891
その他	424,696	552,388
流動負債合計	3,088,179	3,268,512
固定負債		
長期借入金	1,343,211	1,457,608
再評価に係る繰延税金負債	161,263	161,263
役員退職慰労引当金	4,704	5,149
退職給付に係る負債	1,187,752	1,174,116
長期未払金	69,140	69,040
その他	106,644	109,765
固定負債合計	2,872,715	2,976,942
負債合計	5,960,894	6,245,454
純資産の部		
株主資本		
資本金	856,050	856,050
資本剰余金	625,295	625,295
利益剰余金	3,071,850	3,447,306
自己株式	△194,136	△194,136
株主資本合計	4,359,059	4,734,515
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	122,703	125,290
土地再評価差額金	56,288	56,288
為替換算調整勘定	19,366	6,617
退職給付に係る調整累計額	△26,153	△20,999
その他の包括利益累計額合計	172,205	167,196
純資産合計	4,531,265	4,901,711
負債純資産合計	10,492,159	11,147,166

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
営業収益	14,907,523	14,733,648
営業原価	11,684,361	11,470,472
営業総利益	3,223,162	3,263,176
販売費及び一般管理費	2,574,567	2,619,493
営業利益	648,594	643,682
営業外収益		
受取利息	2,555	4,148
受取配当金	11,565	10,581
受取保険金	10,804	9,752
受取地代家賃	6,153	335
複合金融商品評価益	—	9,304
その他	6,039	11,169
営業外収益合計	37,117	45,291
営業外費用		
支払利息	19,194	16,078
持分法による投資損失	9,750	—
複合金融商品評価損	10,011	—
貸倒引当金繰入額	—	9,500
その他	621	1,287
営業外費用合計	39,577	26,866
経常利益	646,135	662,107
特別利益		
投資有価証券売却益	65,335	4,498
特別利益合計	65,335	4,498
特別損失		
固定資産除却損	56	276
会員権売却損	614	—
特別損失合計	670	276
税金等調整前四半期純利益	710,800	666,328
法人税、住民税及び事業税	167,033	155,636
法人税等調整額	87,755	64,054
法人税等合計	254,788	219,691
四半期純利益	456,011	446,637
親会社株主に帰属する四半期純利益	456,011	446,637

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	456,011	446,637
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,867	2,586
土地再評価差額金	421	—
為替換算調整勘定	△1,633	△12,749
退職給付に係る調整額	△5,954	5,153
その他の包括利益合計	1,699	△5,008
四半期包括利益	457,711	441,628
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	457,711	441,628
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	輸出入貨物 取扱事業	鉄鋼物流事業	その他事業	合計		
営業収益						
(1) 外部顧客に 対する営業収益	12,939,579	1,075,913	892,030	14,907,523	—	14,907,523
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	17,767	46,999	64,767	△64,767	—
計	12,939,579	1,093,681	939,030	14,972,291	△64,767	14,907,523
セグメント利益 又は損失(△)	1,091,130	△521	135,664	1,226,273	△577,679	648,594

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、全社費用577,679千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	輸出入貨物 取扱事業	鉄鋼物流事業	その他事業	合計		
営業収益						
(1) 外部顧客に 対する営業収益	12,784,675	1,083,730	865,242	14,733,648	—	14,733,648
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	18,183	60,189	78,372	△78,372	—
計	12,784,675	1,101,914	925,431	14,812,021	△78,372	14,733,648
セグメント利益	1,048,915	24,885	123,147	1,196,948	△553,265	643,682

(注) 1. セグメント利益の調整額は、全社費用553,265千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、経営管理の実態に即した区分にするため、業務内容をベースにした区分から取扱貨物をベースにした区分へ事業セグメントの見直しを行ったことに伴い、報告セグメントを従来の「港湾運送事業及び港湾付帯事業」、「その他事業」から「輸出入貨物取扱事業」、「鉄鋼物流事業」及び「その他事業」に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。